

## 履修単位様式

科目名	美術	英語科目名	Art
開講年度・学期	平成 27 年度・前期	対象学科・専攻・学年	1 年 全学科(建築学科以外は音楽との選択)
授業形態	講義、実習	必修 or 選択	必修
単位数	1	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	齋藤千明(非常勤)	居室(もしくは所属)	一般科講師控室
電話	0285-20-2184	E-mail	mihara@oyama-ct.ac.jp
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1, アクリル絵具の特性を理解し、その技法が出来ること。 2, 形体が果たす役割、直線と曲線、暖色と寒色などの違いとイメージを表現出来ること。 3, 抽象表現をはじめとする様々な芸術活動の理論や考え方を学び理解を深めること。			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1, 課題 1(風景画)の作品で評価する。 2~3, 課題 2(抽象表現、視覚伝達デザイン)の作品とそれに添付する制作コンセプト、美術鑑賞のレポートで評価する。			
評価方法			
評価は、作品提出・課題 1 風景画(中間試験)、課題 2 抽象画及び視覚伝達デザイン(期末試験)の 2 課題の成績 80%, 提出物 10%, 受講態度 10%の比率で行う。 作品未提出者は、評価対象外とする。			
授業内容			
課題 1(風景画)			
1, 具体的課題の制作計画と学習内容の説明、アクリル絵具の特色、技法についての講義 2, 課題 1(風景画)の制作計画と鉛筆によるラフスケッチ 3, 構図を決めて本制作に入る。 4, 美術鑑賞(教科書及び画集より風景画の参考作品を選んで解説)、透視図法について(パースラインと消失点)の講義 5, アクリル絵具を用いて彩色に入る。 6, 全体のバランスを考えて彩色を重ねて行く。 7, 細部まで描き込んで仕上げ、提出。 8, 作品講評----- (計 8 週 16 時間を予定)			
課題 2(抽象画及び視覚伝達デザイン-平面構成)			
1, 美術史、作品鑑賞(各テーマ別に参考作品を解説) 2, アイデアスケッチ、ラフデザイン制作 3, 作品コンセプトを考え、レポートとして提出 4, レポートチェック後、本制作に入る。 5, 作品の配色を考えて彩色を施す。 平面構成、色彩調和の基本についての講義。 6, 作品仕上げ、授業終了後提出。 7, 作品講評、デザインの領域についてまとめの講義----- (計 7 週 14 時間を予定)			
キーワード	空間、構図、マチエール、色彩とイメージ		
教科書	高校美術 1 (日本文教出版)		
参考書	高専図書館蔵書美術関連書籍の中から数冊授業内で紹介、使用する。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項 1, 課題の提出期限は、遵守の事。 2, 何の理由もなく課題提出が遅れた場合には、受講態度の評価を減点とする。 3, 課題未提出の場合は、評価対象外とする。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 18 日		